

支えに

Sasaeni

ご自由にお持ちください



支えに 2024年1月発行

Vol.55

【特集対談】

人と地域とつながる病院

新潟県医師会 堂前会長 × JA新潟厚生連 塚田代表理事理事長

【特集】

- 各病院の役割・方向性のプレゼンの実施
- 12病院長より新年のご挨拶



県内12の病院が
地域の皆さまの
健康と心を支えます



広報誌「支えに」のバックナンバーは
こちらからご覧いただけます

JA新潟厚生連はSDGsに貢献します



家族を乗せて
走るから、安心は
三つ星を選ぶ。

もしものときの、頼れる保障。



JA共済の事故対応利用者満足度は95.7%※!

★お得な掛金割引をご用意!

JA共済オリジナル
自賠責共済セット割引
[自動車共済+自賠責共済]

対人賠償の共済掛金
7%割引

JA共済オリジナル
農業用
貨物車割引

共済掛金
10%割引

複数契約
割引

共済掛金
5%割引

自動継続
割引

共済掛金
2%割引

長期優良
契約割引

共済掛金
2~6%割引

*割引の適用には所定の条件があります。

手厚い保障や、うれしいサービス!

★リスクを幅広く保障

相手方への保障
「対人賠償」「対物賠償」
ご自身とご家族の保障
「人身傷害保障」「傷害定額給付保障」
お車の保障
「車両保障」「車両諸費用保障特約」

★もしもの時に頼れるサービス

- 24時間365日の事故受付
- レッカーサービス●ロードサービス
- 夜間休日現場急行サービスなど

*サービスのご利用にあたっては所定の条件があります。

JAの自動車共済クルマスターなら

充実した保障と
サービスを
ムダなくお得に
備えられます。

共済金のお支払いには所定の条件があります。

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。※この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

はじめて共済

<https://shiryo.ja-kyosai.or.jp>

■JA共済ホームページ <https://www.ja-kyosai.or.jp>



本サイトから
「ひといえくるま」の
各共済の資料請求・
掛金試算ができます。

JA共済相談受付センター(JA共済連 全国本部)

☎0120-536-093

受付時間: 9:00~18:00(月~金) 9:00~17:00(土)

※日曜日、祝日および12月29日~1月3日を除きます。
※メンテナンス等により予告なく変更する場合があります。
※電話番号は、おかけ間違いのないようご注意ください。



げんきなカラダプロジェクト・あしんくろプロジェクト

みんなで一緒に健康をつくる「げんきなカラダプロジェクト」。
いえ、くるま、農業といった大切なものを支える「あしんくろプロジェクト」。
この2つのプロジェクトで、みなさまの豊かな生活づくりをサポートしていきます。

専用ホームページでは、健康増進や防災・減災等のサービスのご紹介、各種イベントのご案内、お役立ち情報などを掲載しています。ぜひご覧ください!

<https://service.ja-kyosai.or.jp>



くらしの保障、相談するなら



特集 地域医療

人と地域とつながる病院

「地域医療構想」という言葉

を聞いたことがあるでしょうか。地域の実情に合わせた効率的な医療体制を整えるために、県全体で進めている取り組みです。新年号は、新潟の地域医療の維持・向上を二人三脚で目指す、新潟県医師会とJA新潟厚生連のトップが語り合います。

―新潟県の医療体制の現状は？

堂前 新潟県の医師不足は周知のとおりで、この先も医療を継続して提供するには病院の役割分担を決める必要があります。高度急性期医療^{※1}を担う病院と、それをフォローし回復期医療^{※1}を担う地域密着型病院です。医療は「病院完結型」から「地域完結型」へと移行しつつあります。

塚田 JA新潟厚生連は、約100年前に始まった「農業者のために医療を届けよう」という発想が原点です。新潟県は、明治30年近くまで都道府県別の人口が日本一多い県でした。戦後は日本の人口が1億人を超え、国民皆保険が実現します。それを享受してきた流れがあるので、人口減少により「今までのような医療を受けられなくなるのでは」という不安が先に立っているのが現状だと思います。



堂前 「農業者のため」という

成り立ちから、村上や佐渡など広く県内12か所に病院があるのが厚生連の特色。地域住民のセーフティネットの役割を担っています。今回11病院^{※2}のプレゼンテーションを聞かせていただき、それぞれの病院の役割を病院長がしっかりと認識していると感じました。

塚田 ありがたいお言葉です。県の医師会は16の郡市医師会を束ねており、「地域の医療を絶やさない」という私たちと同じ使命を持っていると思います。病院での治療から在宅医療への流れを滞りなく実施し、地域包括ケアシステムを実現するには、病院と医師会が手を取り合うことが必須条件。私たちとしても医師会は頼りになる存在です。

―地域医療を担うために、互いに連携してできることは？

塚田 国が提唱する地域包括ケアシステムは、医療だけではなく生活も支えるしくみです。医療はまだあまり必要ないと

いう人の生活を支え、なおかつ急変した場合は病院が対応する。そして看取りまでする。病院、開業医、行政が共にやる必要があります。新潟県は16の郡市医師会に在宅医療推進センターを備え、県の医師会がサポートする体制がありますね。

堂前 センターを作ったのは、まさに地域包括ケアシステム実現のためです。「具合が悪くなったら病院にかかればいい」ではなく、日頃から生活や健康について地域で見っていくことが効率的で無駄がないと思います。厚生連病院、県立病院、市町村や県の行政とオール新潟で取り組みたいです。



塚田 新潟県には一つの医学

部しかありませんから、互いに気心の知れた医師が多くいます。そうした医師同士のネットワークもうまく活用できるといいですね。また、新潟大学では総合診療医を育成する取り組みが始まっています。目的は、社会の高齢化に伴い、患者の複数疾患や生活上の課題

を総合的に診ることができ、医師を確保するため。県の医師会が資金援助し、オンラインで学べるコンテンツを作っています。こうした動きも含めて、県全体が一つになることが今後ますます大事になると思います。

―県民へのメッセージをお願いします。

堂前 これからも良い医療を提供できるように努力していきます。一方で県民の皆さんにも、限られた医療資源の使い方方を少し考えていただければ幸いです。夜間の急な病気やけがで救急車を呼ぶべきか迷った時は、19時から翌朝8時まで対応する救急医療電話相談「#8000(子ども用)」や「#7119(大人用)」があります。夜間の医師の負担軽減のためにも、ご利用いただけたいと思います。

塚田 医療界にはいろいろな団体がありますが、協力してやっていくことが重要。その姿勢を県民の皆さんにしっかりと伝えていきたいです。地域医療の基盤を支える厚生連病院を指し、県の医師会や行政の指導のもとで頑張っていきたいと思います。

一般社団法人 新潟県医師会
会長

ドウマエ ヨウイチロウ
堂前 洋一郎

地域×医療 Topics

新潟県医師会は、医道の昂揚、医学・医療の発達普及と公衆衛生の向上、社会福祉の増進を目的にさまざまな事業を展開する一般社団法人。医師はもとより、広く県民にも医療を中心とした情報を提供する。



(一社)新潟県医師会HP▶

JA新潟厚生連
代表理事理事長

ツカダ ヨシヒサ
塚田 芳久

医療×地域 Topics

1919(大正8)年、新潟県の農村地域への医療供給から始まり、医療事業を継承してきたJA新潟厚生連。現在は病院・診療所、介護医療院、老健施設、看護専門学校、健診センターなどを備え、地域住民の健康を支えている。



JA新潟厚生連HP▶

※1 急性期医療は、発病から間もない、あるいは手術後など容態が不安定になりやすい時期に必要とされる医療です。中でも、救命救急病棟やICUなどにより患者さんの早期安定化をめざす医療を高度急性期医療といいます。回復期医療は、急性期を脱し、リハビリなどによって体の機能回復を図る時期に必要とされる医療をいいます。
※2 三条総合病院は県央基幹病院との統合が決定しているため除いています。

持続可能な地域医療へ

「医療圏ごとに病院の機能分担を」



新潟県の地域医療構想(グランドデザイン)を踏まえた11病院の役割・方向性について病院長によるプレゼンテーション

日本は世界でも例を見ない水準の超高齢化社会に突入します。働き手が減り医療資源が限られる中で、地域医療構想の早期実現は重要であり、協議が進められています。その中で、JA新潟厚生連としては地域医療構想への対応方針を策定し、地域医療構想の実現に向けて全面的に協力しておりますが、厚生連病院の地域での役割や必要性については住民の方々のご理解が必要です。

そこで、2023年11月13日、病院長がそれぞれの病院の今後の役割・方向性を述べるプレゼンテーションを実施しました。

また、これらのプレゼンテーションの動画を皆様にご公開しています。

これからも地域住民の方々へ寄り添った病院として、常に情報を発信し、ご理解を得られるよう努めて参ります。

プレゼンテーション:各病院のQRコードからご覧ください。

	<p>糸魚川総合病院</p>	<p>けいなん総合病院</p>	<p>上越総合病院</p>
<p>柏崎総合医療センター</p>	<p>小千谷総合病院</p>	<p>長岡中央総合病院</p>	<p>新潟医療センター</p>
<p>豊栄病院</p>	<p>あがの市民病院</p>	<p>村上総合病院</p>	<p>佐渡総合病院</p>

県内12病院より新年のご挨拶



JA新潟厚生連 代表理事 理事長 塚田 芳久

新年明けましておめでとうございます。日頃より、本会の運営に格別のお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。

新年あけまして、おめでとうございます。

日頃から新潟県厚生連の運営に対し、格別のご理解いただき、心から感謝申し上げます。

JA新潟厚生連は7つある新潟県二次医療圏すべてに12病院を配し、加えて診療所、介護老人保健施設、介護医療院、訪問看護ステーションなどを有しています。JAグループの一員として、JA組合員と地域住民のニーズに応え、医療、保健、福祉の三事業を提供しております。本年3月には三条総合病院が県央基幹病院に統合され、系列は11病院になりますが、引き続き格別のご高配を賜りますようお願い申し

上げます。

日本の少子高齢化と人口減はコロナ禍により一層進み、国は地域医療構想や医師の働き方改革などにより、持続可能な体制整備を進めています。ところが新潟県は、可住面積において北海道に次いで国内2位と広く、長い海岸線や離島佐渡など地理的要因により医療機関が分散して

います。そのために新潟県は、従来からの医師不足に医療資源の都市部集中が重なり、地方では医療スタッフ不足が顕著になってきました。

この新潟県地域医療の危機的状況にあたり、JA新潟厚生連は70年を超える

歴史の中で初めて、医師の理事長を配しま

した。本年は患者ファーストのサービス提供、現場主義を徹底して、患者さんや職員から選ばれるJA新潟厚生連になります。

職員一同は、地域医療を支え、皆様の健康をサポートします。公的医療機関として、医療アクセスを守り社会に貢献することが、本来の使命と心得ています。皆様に寄り添い、JAグループの一員として、地域作り

や地域の機能向上を目指してまいります。

さいごになります。今年が皆様にとって良い一年でありますよう、心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

JA新潟厚生連とは(新潟県厚生農業協同組合連合会)

地域医療に貢献し、皆さまの健康をサポートします。

地域の皆さまの健康で心豊かな暮らしを築くため、医療施設、介護老人保健施設、健診センター、看護専門学校ほかの施設を運営しています。

事業内容

医療事業

新潟県厚生連は現在、12の病院を運営しています。地域の特性を生かした病院作りを目指しています。



保健事業

人間ドックのほか、生活習慣病巡回健診による各種検診、骨粗鬆症検診などにも力を入れています。

福祉事業

高齢者のため、在宅医療の充実を目指したものです。福祉相談、訪問看護と訪問リハビリなどに取り組んでいます。



<https://www.kashiwazaki-ghmc.jp/>

柏崎総合医療センター



明けましておめでとうございませす。新型コロナとの戦いでは、職員一同地域医療が崩壊しないようにと、必死で頑張つて参りました。今後はコロナ禍以前に少しでも戻れるように、地域の皆様と共に歩んでいければと思います。

これからも柏崎・刈羽地域の地域医療に責任を持ち維持して参りたいと思います。

皆様方のご健康を祈念いたします。



病院長 相田 浩

<https://www.itoigawa-hp.jp/>

糸魚川総合病院

あけましておめでとうございませす。糸魚川にとって昨年はコロナウイルスによる入院受け入れ制限という初めての経験から始まり、分娩の中止に続いて半年後に再開に漕ぎつけるといつた目まぐるしい1年でした。その一方で人口構造の変化に対応すべく病院の形を変える準備も進めてきました。今年はその成果を出す1年となります。これからの地方の医療は「こうあるのが正しい」というモデルとしての糸魚川総合病院をお見せしたいと思います。

職員一同はりきつて活動してまいります。本年もよろしくお願いたします。



病院長 山岸 文範




<https://www.ojiya-ghp.jp/>

小千谷総合病院

明けましておめでとうございませす。当院が開院し6年余が経過しました。地域にねざした病院として皆様の安心安全な医療の拠点となれるよう日々邁進してきました。さらに本年は当院の在宅医療体制を強化し、また介護分野でも地域貢献できるように施設整備を進めています。将来的には十日町方面や魚沼方面など広域的な医療連携を展開していきたいと思っております。これからも皆様にとって身近な病院としてお役に立てることを喜びと感じ元気に診療に臨む所存です。本年も小千谷総合病院をよろしくお願致します。



病院長 柳 雅彦




<https://keinanso.jp/>

けいなん総合病院

新年あけましておめでとうございませす。けいなん総合病院は、地域の皆様の「生命」を支え、「健康」を支え、「人生」を応援することに、スタッフ一同努めております。少子高齢化、人口減少社会など地域を取り巻く環境は、今後大きく変化していくことが予想されます。当然、医療をめぐる情勢も大きな変革の波にさらされることでしょうか。しかしながら、いかに社会環境が変化したとしても、私たちは医療の本質である「患者さんを救うこと」によって社会に貢献すること、これに今後とも全力を尽くしていく所存です。

本年もけいなん総合病院を何卒よろしくお願いたします。



病院長 平野 正明




<https://www.nagachu.jp/>

長岡中央総合病院

新年あけましておめでとうございませす。昨年12月にがんゲノム医療連携病院の認定を受けました。これまで以上に、最新のがん治療を皆様に提供できるよう取り組みます。そして地域の中核病院として、今後も中越地区、長岡市の地域医療を支えてまいります。「中央病院に来てよかった、やっぱり中央病院だ」と言っていただけるよう、「地域の皆様と共にある長岡中央総合病院」を職員一同で目指します。

今年もよろしくお願いたします。



病院長 矢尻 洋一




<https://joetsu-hp.jp/>

上越総合病院

あけましておめでとうございませす。

今年の干支は、甲辰（きのえたつ）。前回のこの干支は一九六三年。二八豪雪と語り継がれる大雪の年。これは勘弁願いたい。国内初の高速道路や歩道橋ができた年。明るいニュースなら、今年もたくさんあつてほしい。

医療環境は厳しさを増すばかり。でも、地域のみなさんの幸せのため、天翔ける龍のように、職員一同、今年も力を合わせてまいります。何卒よろしくお願申し上げます。



病院長 籠島 充



<https://www.aganocity-hp.jp/hospital/aganoshimin/>

あがの市民病院

新年、おめでとうございます。
当院の使命は、「地域住民が日々健やかに生活できるように、健康診断、外来・入院・在宅・救急医療、高齢者福祉などの事業を通じて支援を行い、地域の発展に貢献すること」です。当院が実践しようとしている「地域医療」は、住民・行政・職員が三位一体となつて、継続的に、包括的なサービスを計画・実行することです。患者さまが抱える複合的な疾患を総合的に診る、患者さまに寄り添い、地域のニーズに合わせた医療・介護・福祉を総合的に提供できるよう、スタッフ一同力を合わせ、前進してまいります。



病院長 藤森 勝也



<https://www.mgh.jp/>

村上総合病院

明けましておめでとうございます。昨年、地域医療構想における新潟県グランドデザインを踏まえた当院の役割方向性を「下越区域唯一の救急拠点型の地域包括ケアシステムを支える病院として、県立坂町病院や中条中央病院との機能分担・補完体制を構築し、連携強化を図る」「三次救急病院（県立新発田病院）との連携」といたしました。また病院活性化キャッチフレーズを「地域包括ケアシステムを支える病院として、下越区域全体を丸ごと診る」(周辺医療機関と連携した「二次救急と検診による健康管理」としました。今年はこの確実な実行を目指して参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



病院長 林 達彦



<https://sadosogo-hp.jp/>

佐渡総合病院

あけましておめでとうございます。急速に進む少子高齢化に加え、新興感染症や災害、戦禍など、私たちが取り巻く環境は多くの不安を抱えています。財政難は医療福祉の提供すら危機に陥れつつあり、地域の課題は少なくありません。高齢化が進み、働き手が急減していくこれからの社会では、住民ご自身と行政・医療・福祉が力を合わせ、心身ともに元氣な生活を築いていく先手の対策が肝要です。病院は連携の中でこそ機能し、対策に貢献する役割を担います。病院の力の源泉は、みなさまや地域とのつながりです。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



病院長 佐藤 賢治



<https://www.kouseiren-sanjo.jp/>

三条総合病院

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
新年の過ごし方も、時代によって変化をし、人それぞれだと思えます。しかし、形は変わつても、新しい年に思いをはせ、心新たに、ご自身の健康について今一度振り返り、今年もお体にお気をつけてお過ごし下さい。
当院は、約九十年の歴史に幕を閉じ、三月一日に新潟県中央基幹病院として再出発します。組織は変わりますが、医療人として、今まで以上に地域の発展に貢献出来るよう、職員一同、努力していく所存です。
皆様の人生のよきパートナーとして、今後も厚生連の各病院をよろしくお願ひ申し上げます。



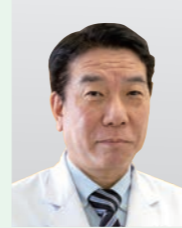
病院長 岩渕 洋一



<http://www.niigata-medical.jp/>

新潟医療センター

新年明けましておめでとうございます。皆様健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年より逼迫する新潟圏域の救急体制への対応として、救急外来の拡張工事、病棟の機能再編を進めております。救急車受け入れは順調に増加しており、目標を超える年間4000台も実現できそうです。皆様に信頼される地域の病院としてお役に立てる様、今年も努力してまいります。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



病院長 吉澤 弘久



<https://www.toyosaka-hospital.jp/>

豊栄病院

新年あけましておめでとうございます。現在医療を取り巻く環境は厳しく、また医療再編などの問題もあり各病院の将来が不透明な状況となっております。そうした中、当院は、他の病院、地域の診療所の先生方、高齢者施設などと緊密な関係を続け、また行政機関や地元消防局などとも連携を取りながら、新潟市北区を中心とした地域の医療をそして地域そのものを、より良いものにしていきたいと考えています。どうぞ今年もよろしくお願ひいたします。



病院長 宮島 透

カタチ de 脳トレ

イラスト間違い探し

上と下の絵には、どこかに間違いが5カ所あります。全部探してしまいましょう。



12月号の答え

- ① 飴のリボンの色
- ② 人形クッキーの色
- ③ ツリーの台の高さ
- ④ 柵の向き
- ⑤ スノーマンの鼻がない



● 1月号の答えは2月号で発表します! お楽しみに!!

豊栄病院

11/17 障害者雇用推進フォーラム

朱鷺メッセで障害者雇用推進フォーラムがハローワーク新潟、新潟市主催で開催されました。「障害者の雇用について企業と支援機関と一緒に考える」をテーマとし、障害者の雇用に取り組んでいる企業の事例を題材としたパネルディスカッションを行いました。豊栄病院からパネリストとして長谷川事務長が登壇し、県のコーディネーター派遣サービスを活用し、関係機関と連携した障害者雇用の取り組みについての事例紹介をさせていただきました。これから障害者雇用に取り組む企業に対してのメッセージとして、専門家の意見を聞きながら、企業だけで取り組むのと比べて負担なく障害者雇用・定着に取り組むことができるので、少しずつ取り組んでいただきたいと思います。お伝えさせていただきました。



村上総合病院

10/6 第1回看護師特定行為研修開講式

看護師特定行為研修「中心静脈カテーテルの抜去」「末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入」の第1期生2名を受入れることができました。



11/11 PEACE～緩和ケア研修会～

日本緩和医療学会認定の集団研修として、院内外の医療従事者18名が受講しました。研修の目的は、「緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度の習得」です。県内の病院から緩和ケアのスペシャリスト12名を講師としてお招きしました。今後も定期的に開催していく予定です。



12/2 NIC健康セミナー

【第1部】村上岩船地域の医療の現状と将来にむけて
林 達彦 病院長

【第2部】股関節が痛い! 骨折? 変形? 脱臼? 股関節の痛みの原因とその治療法を教えます

整形外科部長 白野 誠 先生

- 主催/NIC新潟日報販売店グループ
- 後援/村上市・新潟県厚生農業協同組合連合会
- 協力/株式会社メディレボ



※詳しくは「目指せ!!健康寿命日本一。にいがたプロジェクト」(https://www.niigata-nippo-kenko.com/)の専用サイトに掲載されています。

南佐渡地域医療センター

11/4 第33回MOA美術館佐渡児童作品展 表彰式

MOA美術館児童作品展の地方展「第33回MOA美術館佐渡児童作品展」の表彰式が令和5年11月4日にアミューズメント佐渡で開催されました。多くの応募作品から、南佐渡地域医療センター長賞を受賞した小学生に、センター長より表彰状の授与がありました。入賞作品については、2月に当センター外来ホールで展示がされます。



上越総合病院

11/29 イノベーションレクチャー開催

3年ぶりに開催したイノベーションレクチャーは、えちごトキめき鉄道株式会社の代表取締役社長の鳥塚亮様を講師にお招きしました。鳥塚社長は東京ご出身でありながら新潟県上越市で鉄道を通じ「雪月花」をはじめSL展示など様々なアイデアを練り出し、地域の活性化にご尽力されています。我々上越総合病院スタッフも自院の魅力を再認識し、地域医療の発展のために益々努めていく意欲をもらえた講演会でした。



「いつも前向き」な看護師たちを紹介した動画が公開されました。動画はこちらからご覧いただけます。



次号告知

「人と地域とつながる病院」は、人材育成×医療をクローズアップ。

医療人材の確保・育成は待ったなしの課題。村上総合病院の杉谷副院長が新潟県立村上中等教育学校の磯邊学校長と、オブザーバーに医療界を目指す学生をお迎えし、地域医療の未来を語り合います。



表紙はイメージです▶



ご意見・ご感想をお寄せください

本会では、「患者さんの声」を病院の経営に反映させることが大切と考えております。皆様からお寄せ頂いた貴重なご意見・ご要望などを積極的に活用しながら、より充実した医療・保健・福祉を提供する体制を整え、患者さんの気持ちに寄り添った心温かいサービスを心がけてまいります。皆様からのご意見・ご感想は、下記まで電話、FAX、お手紙でお寄せください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報などお寄せいただいた内容は、本会において適切に管理いたします。また、本会からの各種ご連絡、出版物などのご案内などにも利用させていただきます。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

新潟県厚生農業協同組合連合会 総務部 〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109 tel.025-211-2714 fax.025-228-0990

まえに 新潟県厚生農業協同組合連合会 広報誌 2024年1月号
〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町86番地109
tel.025-211-2710(代表) fax.025-228-0992(代表)
企画/ 新潟日報メディアネット 企画・編集・協力/ 株式会社メディレボ



JA新潟厚生連ホームページURL
https://www.niigata-kouseiren.or.jp/



あなたの街の「かかりつけ薬局」に
お気軽にご相談ください



株式会社 共栄堂
【本部所在地】
〒950-0162 新潟市江南区亀田大月2丁目5-38
TEL 025-383-1200 URL https://www.kyoueido.net